

# 小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 14

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	管理監督者研修		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	④ その他		<4> 継続評価 新規評価の別
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	2 着実に進める 新しい時代の行政づくり	<6> 担当部(局)
	中項目	2-1 行政サービスの向上と効率的な行政運営	<7> 担当所属
	小項目	2-1-1 行・財政改革	<8> 担当係等
	施策	職員の資質向上・能力開発	
<9> 根拠法令・計画等	地方公務員法第39条	<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般 会計	<12> 予算科目	2 款 1 項 1 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	「その他」の場合 ( )		

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	4. 市民ニーズによるものではない
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある
	効率性	<29> (総合計画基本計画) 施策への貢献度は大きいのか?	4. 該当しない
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		2. 向上の余地はない	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	1. 検討可能である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4. 該当しない	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	3. 改善の余地はない	理由	現在の自治体が抱えている課題など、旬なテーマについて研修できている。今後も管理監督職員のニーズ等の把握に努め多くの対象者に興味をもってもらえる研修として維持していきたい。

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	管理監督職員を対象に講演会形式により研修を行う。								
目的	<17> 事業・業務の目的	管理監督職員が現在の行政課題、地方自治体を取り巻く状況等の見識を深める。							
	<18> 事業・業務の対象	管理監督職員							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	「ワークライフバランス」をテーマに外部講師を招き講演会を行った。							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
		受講者数	人	計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
成果	<21> 事業・業務の成果	ワークライフバランスの必要性、重要性についての理解を深めることで、業務の見直しや振り返りのきっかけとすることができた。							
成果	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
		研修満足度(3段階)		計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度			
			千円	計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		財源内訳	事業費等	千円	279	279	334	334	100.0%
			国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
一般財源	千円	279	279	334	334	100.0%			
人件費	千円	288	288	286	286	100.0%			
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.04	7,195 × 0.04	7,146 × 0.04	7,146 × 0.04				
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×				

## 4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	新任の管理監督職員以外は例年の受講となるため、研修内容がマンネリ化しないよう受講者のニーズや社会が自治体に求めているテーマの把握を敏感に行い、多くの対象者に興味をもってもらう内容とする必要がある。アンケート結果や各市の研修担当者の意見などを参考に慎重に内容を検討していきたい。		
	<35> 1次評価	所属長	3. 現状維持	理由 アンケート結果も良好であり、良質な研修内容と考えられるが、今後も効果的な研修内容を維持していくためには、アンケート結果の入念な検証を行う他、慎重な研修講師の選定を行い、確実な研修運営を図っていく必要がある。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3. 現状維持	理由 管理監督職員が現在の行政が抱えている課題等を把握し、見識を深めていくことは重要なことである。今後も社会の動向等を注視し、的確な研修テーマを定め研修を実施していくことは必要である。

## 5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	どうすれば「人と組織がやる気に満ちあふれ、生きがいを持って仕事に取り組む環境」をつくれるのかをテーマとして、やる気やモチベーションを引き出す方法について講演会を実施する。			
	<38> 活動・成果目標	職員の能力開発にとって職場環境は重要な要素であることから、職員が能力・意欲を十分に発揮できる働きやすい職場環境づくりに必要な手法を学ぶ。			
	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度	
		千円	計画	計画	
	事業費等	千円	636	636	
	人件費	千円	286	286	